

【ポスター発表】

相談支援専門員に対する実地教育の効果に関する研究

—実地教育従事者養成研修からみた研修効果視点の検討—

○ 福井県立大学 相馬大祐 (6655)

鈴木 敏彦 (和泉短期大学・2244)、大村美保 (筑波大学・6979)、小澤 温 (筑波大学・260)

キーワード：相談支援専門員 実地教育 研修転移

1. 研究目的

地域で生活する障害児者に対する支援を構築するにあたり、相談支援専門員の存在は重要と言える。また、相談支援専門員がそれぞれの力を発揮するため、研修と実地教育の有機的な連動による人材育成の体制構築は喫緊の課題である。

2020年度厚生労働行政推進調査事業費（厚生労働科学特別研究事業）「相談支援専門員に対する実地教育の実施方法及び実地教育に従事する指導者養成カリキュラム開発についての調査研究」（以下、カリキュラム開発研究）では、実地教育に従事する相談支援専門員へのインタビュー調査によって実地教育従事者のコンピテンシーを開発し、実地教育従事者のコンピテンシーに基づく実地教育従事者養成研修のカリキュラム及び教材が開発されている。本研究はカリキュラム開発研究にて示された実地教育従事者養成研修を実施し、その効果を把握することを目的とした。加えて、研修効果の視点を獲得することも目的とする。なお、実地教育の定義については藤川による「実践知を養い熟達化するための実務・実践場面での取り組み」とする定義を採用した（藤川 2019）。

2. 研究の視点および方法

カリキュラム開発研究にて示された実地教育従事者養成研修のカリキュラム及び教材を参考にして、2021（令和3）年8月～9月に実地教育従事者養成研修を実施した。3県の合計30名が受講した。新型コロナウイルス感染拡大の影響から、各都道府県にて分散して受講してもらい、インターネットの会議システムを使用して、各会場をつなぐ形式を採用した。

本研究の対象者は主に①上記の実地教育従事者養成研修を受講した者（以下、受講者）、②実地教育従事者養成研修の実地教育従事者養成研修の受講者による実地教育を受ける相談支援専門員（以下、地域の相談員）に大別される。それぞれの研究方法は以下のとおりである。

受講者に対しては、質問紙調査及びインタビュー調査を実施した。質問紙調査は実地教育従事者養成研修受講前と受講後を比較するため、研修前の8月と研修後の3月に実施した。インタビュー調査は都道府県ごとにグループ形式にて、研修後の12月から1月の間に実施した。

地域の相談員に対しては、質問紙調査及びインタビュー調査を実施した。質問紙調査は受講者に地域の相談員に対しメールにて配布を依頼し、回収は研究者にメールにて送付をする方法を取った。質問紙調査は受講者と同様に、研修前と研修後に2回実施した。また、受講者の地域から実地教育を受けている相談員を選定し、協力を得られた10名を対象にインタビュー調査を実施した。

3. 倫理的配慮

福井県立大学人権擁護・倫理委員会により承認され、実施した（受付番号2021005）。質問紙調査については、回答をもって同意とした。インタビュー調査は事前に個人名、事業所名等は記号化すること、調査については途中で中止できること等を説明し、同意を得て実施した。

4. 研究結果

受講者への質問紙調査を研修前後で比較した結果、実地教育の内容としてはスーパービジョンを実施する者が増加した。また、自己評価として①実地教育従事者のコンピテンシー、②謙虚なリーダーシップ尺度（熊谷2020）、③スーパービジョンスキル評価指標（大谷・山口2019）にて変化がうかがえた。グループインタビュー調査では、実地教育の効果や課題、悩み等について話があった。

地域の相談員に対しての質問紙調査の分析結果からは大きな変化はうかがえなかった。一方、10名のインタビュー調査の結果からは実地教育の効果や自身の変化について話があった。

5. 考察

本研究の結果から、実地教育従事者養成研修については主に受講者への調査結果から効果がうかがえた。また、研修効果の視点として、研修転移について考察した。研修転移とは、「研修の現場で学んだことが、仕事の現場で一般化され役立てられ、かつその効果が持続されること」と定義されている（中原2014）。本研究の結果、受講者自身の取り組む実地教育の変化、すなわち研修転移の4レベルのレベル3「行動」の変化がうかがえた。

本研究は2021年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）を受け、実施した研究成果の一部である。

藤川雄一（2019）「人材育成の意義と必要性」令和元年度主任相談支援専門員養成研修資料

熊谷晋一郎（2020）「当事者研究の導入が障害のある社員の創造性に与える影響に関する研究」2019-2020年度ESRI国際共同研究（WG2）

中原淳（2014）『研修開発入門』ダイヤモンド社

大谷京子・山口みほ（2019）『スーパービジョンのはじめ方』ミネルヴァ書房